



あおぞら



基礎から学ぶ食品安全セミナー

5月17日 オンライン参加

農薬の使用基準と、食品の残留基準の関係



農業と聞くと、どうしても安全性が心配になると思います。安全性確保のための基本的な考え方を理解するためのセミナーが開かれました。その中の一部を抜粋してお届けします。

農林水産省によれば

- 農薬を登録する際には、毒性、作物への残留、環境への影響等に関する様々な試験成績の提出を求めています。
- 毒性以外の他の分野に関する試験も含め、1つの農薬を登録するにあたっては、90種類以上の試験が必要となります。

生協の取り組み

リスクアナリシス(リスク分析)

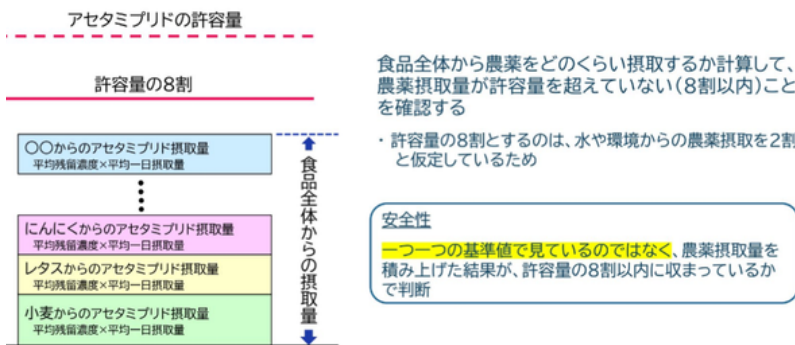
- リスク評価 許容量(健康に悪影が出ない量)の判断
- リスク管理 許容量に収まるルール作りと取り締まり
- リスクコミュニケーション 情報や意見の交換

質問コーナーでは

体内に蓄積されるような農薬は認可されないもので心配ないとの回答でした。

登録作物が幅広い殺虫剤アセタミプリドの例

安全性の確認



Q. 企画やイベントの運営資金は?

A. 定められた年間の活動費の中から、使用目的や金額が適切と判断された場合に使用できます。

Q. 商品(食品)に異常があった場合はどうすれば良いですか?

A. 支所に連絡して、商品は担当者が取りに伺うまで処分しないで取っておいて下さい。(現品をメーカーに送ればより早く回答が得られます) 配送時に生じたであろう事柄の場合も同様、まず支所に連絡をお願いします。

Q. 出資金とは?

A. みんなが安心して利用できる商品づくりや施設などを支えるために組合員が持ち寄る運営資金です。

出資金のお返しについては

自由脱退(自己都合)の場合、12月末日までの脱退届の提出(12月31日必着)にたいして、その翌年4月に出資金を返還します。1月以降に脱退届を提出された場合は、その翌年4月の出資金返還となります。

※ただし法定脱退(県外転居・死亡など)の場合は、商品代金などの精算後に出資金を返還します。

見て 知って 考えよう これからの私たちの食べ物 ～大豆は地球を救う～

5月16日(火) 第4支所組合員センターにて、オンラインで学びました



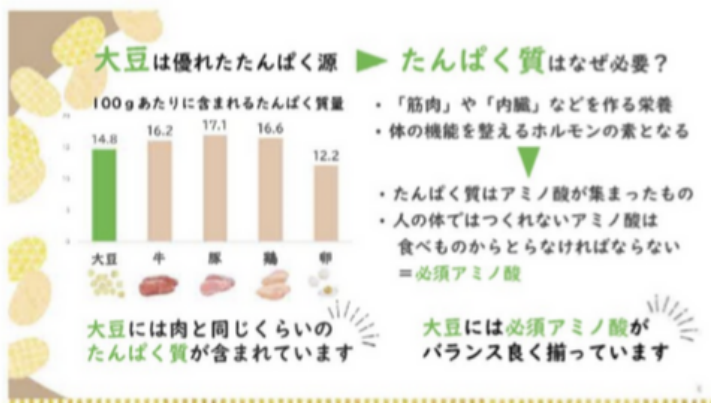
世界・日本の食料事情

- 人口増加で足りない
- 気候変動・温暖化で必要な時期に取れない
- 災害や紛争などで働く人が足りない

大豆タンパクについて



オンライン学習会



Coopの大豆たんぱく商品

- ぎんなんがも
- 枝豆がも
- 豆腐バーグ
- とうふハンバーグ
- チーズがとろ〜り5種の緑黄野菜のとうふハンバーグ
- 七菜きんちゃく
- ひとくち五目のれんこんもち
- まめからくん



CO・OP大豆でつくったから揚げ
まめからくんが 7代目!
2023年2月リニューアル

より柔らかい鶏肉のようなジューシーな食感になりました!

鶏肉のからあげの大きさを参考に従来品から1個のサイズが大きくなる食べ応えアップ!



サンプル品